

科目名 Course Name	こころとからだのしくみ I Physical and Emotional Mechanisms I			ナンバリング No.	J1-012		
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	秋山 巖						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは月・火・木・金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                      基本的な人体の構造と機能を立体的かつ系統的に学び、日常生活動作と関連付けて理解する。そして、運動機能障害と移動に関する障害から生じる心身および日常生活への影響を理解する。また、それらの影響をバイタルサイン(生命の徴候)を通して、客観的に捉える。さらに発表を通して学びを共有し理解を深める。</p> <p><b>【到達目標】</b>                      ①基本的な人体の構造を簡略に図式化し、機能の概要を説明できるようにする。                      ②移動に関する心身および日常生活への影響を説明できるようにする。                      ③バイタルサインの意味を明確にし、測定方法および介助方法を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	講義科目であるが、視聴覚教材の使用、グループワーク、発表、演習と多様な形式である。人体の構造および移動に関連する障害について、提示された課題を個人ワーク・グループワークにより取り組み発表する。個人ワーク・グループワークの 2 回目からは、進捗状況を報告してもらい、適宜アドバイスをを行う。バイタルサインについては、事前課題をもとに演習を行う。						
学習成果	L01						
	L02	バイタルサインの意味を理解し、測定方法を習得することで測定時の介助が適切に行え、異常の早期発見につなげることができる。					
	L03	基本的な人体の構造と機能について知り、日常生活動作と関連付けながら生活支援技術に取り組むことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、小テストは実施後その時間内で採点、解説を実施する。平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	①教科書:最新・介護福祉士養成講座 第11巻 「こころとからだのしくみ」 中央法規出版 ②「ぜんぶわかる人体解剖図」 成美堂出版						
履修上の留意点やルール等	<p>●自分の日常生活動作と関連付けながら学ぶことで理解に努め、簡略な人体の構造図が描けるようにしてほしい。また、調べる・まとめるという作業を通して自主性の必要性を理解してほしい。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。クォーター科目の前半であり、週 2 回の授業となる。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	サブテキストを活用し、積極的に取り組んでいる。		10		
レポート/作品	①人体の構造と機能 S: 必要な項目を適切に挙げ、まとめている。(15%) ②バイタルサイン S: 事前に調べ、演習ができるようにまとめている。(5%)		5	15	
発表	発表原稿を作成し、発表の練習を行っていることや、発表内容(具体的にわかりやすい)、原稿を読むだけでなく、周囲に目を配ったり適切な		10		

		声で発表している等で評価する。			
小テスト		人体の構造と機能に関する理解ができています。		10	
試験		からだのしくみ(脳・神経系・骨・筋肉)、からだの動き(骨・関節の動き・筋肉の動き)、移動のしくみとからだのしくみ、心身機能の低下が移動に及ぼす影響、変化の気づきと対応に関する理解ができています。			50
その他					
<b>合 計</b>				35	65
<b>回数</b>		<b>授業計画</b>			
1	<b>授業内容</b>	授業ガイダンス(授業のねらい・評価方法・演習時の注意) 人体の構造と機能を学ぶ必要性、健康の意義、ホメオスタシス			
	<b>事前・事後学習</b>	あなたが考える「健康とは？」を箇条書きにする。			
2	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解① 人体の構造と機能を概観【視聴覚教材視聴】			
	<b>事前・事後学習</b>	配布資料を記入する。			
3	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解② 脳神経系(中枢神経系)			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト「人体解剖図」P116, 117 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
4	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解③ 脳神経系(末梢神経系)			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト「人体解剖図」P76, 77 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
5	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解④ 筋・骨格系、身体の動き等			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト「人体解剖図」P38, 39 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
6	<b>授業内容</b>	(小テストと解説) からだのしくみの理解⑤ <課題の提示と進め方およびまとめ方>			
	<b>事前・事後学習</b>	小テスト(第1回～第5回の内容)のための復習。			
7	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解⑥【個人ワークまたはグループワーク】 文献を使ってレポートを作成			
	<b>事前・事後学習</b>	レポートのための資料を集める。			
8	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解⑦【個人ワークまたはグループワーク】 個別指導・レポートのまとめ			
	<b>事前・事後学習</b>	レポートをまとめる。			
9	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解⑧【個人ワークまたはグループ】発表の方法と進め方 (レポート① 提出:10回目前日まで、詳しくは授業内で説明)			
	<b>事前・事後学習</b>	レポートをまとめる。			
10	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解⑨【発表①】			
	<b>事前・事後学習</b>	発表の準備。			
11	<b>授業内容</b>	からだのしくみの理解⑩【発表②】、まとめと補足説明			
	<b>事前・事後学習</b>	他学生の発表を聞いて感想をまとめる。			
12	<b>授業内容</b>	バイタルサイン① バイタルサインの意義 <事前課題提示>			
	<b>事前・事後学習</b>	バイタルサインの測定の用紙を記入する。			
13	<b>授業内容</b>	バイタルサイン② 測定方法【演習】(レポート② 提出:演習終了後)			
	<b>事前・事後学習</b>	レポート作成。			
14	<b>授業内容</b>	移動に関連したところとからだのしくみ WHOについて、移動のしくみ			
	<b>事前・事後学習</b>	テキストP84～P105 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
15	<b>授業内容</b>	心身機能の低下が移動に及ぼす影響、変化の気づきと対応			
	<b>事前・事後学習</b>	テキストP99の問題を解く。			